

合格体験記 13

埼玉大学 教育学部 進学

正直私はあんまり良い勉強方法をしていたとは思えないので1、2年生に偉そうに教えることはできませんが、センターの現国とセンターと2次の数学に関してのみ自分の中でやってよかったと思った勉強法とメンタル面で気をつけてほしい事が何点かあります。

■まず現国ですが、センター前に先生教えていただいた、**速読法**が大変役に立ちました。視界に入った1、2行をそのまま脳に落とし込むイメージで読んでみてください。今まで60分かけていた現代文を20分程度で解き終える事ができます。私の学年に数人意味がわからないくらい読むスピードが早い人がいましたが、皆かなり流し読みしていました。私はこの方法を古典が苦手な理系にオススメします。古典でゆっくり時間を使うことができれば、知識がなくても多少ヒントが転がっているので、ゆっくり読んでいけば、酷い点数を取ることも少なくなると思います。センターレベルの国語は慣れるとなんとなく答えが絞れてくるので、速読に慣れると安定した速さと得点を手に入れられると思います。

■次に数学ですが特に数学Ⅲを取る人に言いたいのですが**4 step**を**しっかりやる**ことをオススメします。私は最初の頃の数Ⅲは、今、何の話してるんだらうって感じでした。基礎ができていないと本当に楽しくありません。本当に楽しくないです。11月ごろにようやく先生に質問できるレベルまできてそこから一気にどの教科より楽しくなりました。これから数学Ⅲ不安だな…と思ってる方は、ぜひ**三角関数と微積の復習**を始めて下さい。

数学の勉強法ですが、私はがむしゃらに数をこなしていたら、本番のセンターでボッコボコにされました。応用力がついてなかったのです。それで、**センター対策は4プロとバランス良くやるのがいい**と思います。センターの間違えた大問の分野を4プロで少しやる、またセンター対策みたいな感じで。そうすれば再び2次対策をするとき、久々にやるからよくわかんない！などと足踏みすることもなくなりスマートに次へ進めるのではと思います。

■そして私が一番気をつけてほしいのは**メンタルケア**に関してです。卒業式を終えた後クラスメイトと1番辛かったことに関する話をしました。皆『センター試験後』と答えていました。やはりセンターで思うように結果が出せず『あんなにも頑張ったのに…』と落ち込んでしまい5日、長い人は2週間勉強に手がつかなくなったと言っている人がいました。高い目標を持ちその目標に見合う頑張りを見せていた人ほど長い傾向にあるようです。最後の最後で勉強ができなくなる悔しさ、悲しさは尋常ではないです。『そんな勿体無いことするわけがない、意味がわからない』と思う人もいるでしょう。でも体に心がついていかなくなると、それを理解しているのに泣きながら机の前で何もせずただじっとしている時間が増えていきます。こうなったら最後、迫る受験本番と過去に頑張ってきた勉強量と今やっている事の矛盾でつらくなる事間違いなしです。

ではそうならないためにどうしたらいいか。私は受験する大学を確実に行けそうな大学からチャレンジ校まで綿密に準備する事だと思います。(10校くらい)何か不測の事態でも、すでに下調べした大学

が多くある事は精神的余裕を生みます。確実校の中でもしっかり優先順位をつけ自分の中でも何がいいか理解しておいてください。『私は絶対にこの大学に行く！』という強い意志を持っている人ほど絶対はないと理解し、最悪の場合でも『この大学には他よりこういういいところがあるんだ。だから確実校として受験するんだ』と明確な理由を持って全ての大学を受験することが、悔いなく最後までやり切って素晴らしいゴールを、またさっと切り替えて新たなスタートを切ることの一助となると私は確信を持って言えます。

■学習意欲が上がる話でなく申し訳ないです。しかしメンタルの話に関しては本当に同じ思いをする人が減ってほしいと思っています。私はとりあえずいっぱい勉強すればいいなどと考えていて痛い思いをしました。ですが勉強を続けるために勉強以外の面に気を配ってください。良い大学へ行く方法と同時に最悪の終わり方をしない方法を考えてください。

■何より大切なのは最後までやり切ることです。あなた方の勉強が最高の未来に繋がることを祈っています。